

T O P I C S

2004年北海道支所一般公開無事終了

去る6月26日(土曜日)北海道農業研究センター(北農研)との共催で一般公開を実施しました。

当日は、札幌では珍しく「ちょっと蒸し暑い一日」でしたが(北農研の発表で)1,600人を超える方々が訪れました。支所としては初めての一般公開への参加であり、開催に先立って実行委員会を数回行い、「動物を守る ヒトを守る」をテーマに研究所紹介ビデオの上映の他、配布用パンフレット・展示用パネルを作成して、各研究室の研究内容について説明を行うこととしました。

当日は、北農研の試食・体験コーナーが賑わう中で、94名の方が当所のブース(テント)を訪れ、その内67名の方が熱心に研究内容を質問されました。「研究所ではどんな研究をしているのですか?」「病気の判別はどのように行うのですか?」「細菌・ウイルスにはどんなものがありますか?」等々当研究所に対する関心の高さを感じたことでした。BSEや高病原性鳥インフルエンザ等の社会的な問題への質問が多い反面、支所の研究活動や研究成果について質問される方は少なかったように思いました。

また、近年のペットブームもあり、犬、猫の病気についての相談が相次ぎました。職員の適切な対応も効果がありそれぞれ納得した様子でブースを後にしていました。



研究内容紹介パネル



動物衛生研ブースを訪れた方に研究内容を説明している様子



配布パンフレット

北農研から提供を受けた場所での限られたスペースでの一般公開でありましたが、今後の課題として、もっと見てもらえるような会場作りや体験を含めた研究紹介のあり方等々が残されました。

初めての試みでしたが、企画から準備・設営・後かたづけと、休日にもかかわらず職員、非常勤職員が一つの目的に力を合わせることができ、良い一日となりました。

(事務局:北海道支所庶務課長 松田繁樹)